



国労東海

働くものの团结で生活と権利を守ろう

切実な要求
を持ち寄り
第88回メーデーに参加しよう

今年も5月1日にメーデーが全国各地で開催されます。メーデーの起源と由来、そして88回目を迎える今年のメーデーの特徴について掲載します。

8時間労働制の確立めざす

1日の労働時間が12時間から14時間が一般的な当時、1886年5月にアメリカ・シカゴを中心労働者が8時間労働を求めてストライキに入りました。

1919年には、ILO(国際労働機関)の創設とともに、「労働時間を8時間に短縮するための法律を作ることを要求して」一斉に行動することを決め、1890年5月1日に多くの国の労働者がストライキや集会で決起します。これが「メーデー」の始まりです。この時に、「8時間は仕事のために、あと8時間は休息のために」との合言葉が世界に広がりました。

安倍「暴走」政治 ストップの決意示そう

今、安倍政権の下で「戦争する國づくり」「企業が世界で一番活動しやすい國づくり」が進められています。「官製春闌」では、大手企業のベアは前年を大きく下回り、アベノミクスの破綻が明らかとなりました。実質賃金は5年連続で減少し、労働者・国民の生活は物価上昇に追いつかず、貧困と格差が拡大しています。労働者派遣法の改悪が強行され、「残業代ゼロで働きかせ放題」制度を導入するた

くに呼応して労働者の国際会議が介入して弾圧が行われ、労働時間短縮を勝ち取りました。しかし、直後に労働者の集会に警察が介入して弾圧が行われるという事態に陥りました。アメリカの労働者はこれに屈せず、再び、スト等で立ち上がります。



昨年の第87回「日比谷メーデー」

国鉄労働組合
東海エリア本部
発行責任者 長岡正之
編集責任者 寺崎 浩
東京都港区新橋5-15-5
交通ビル4階

めの労働基準法を改悪しようとされています。

幹から崩されかねない事態です。
同時に、消費税増税、TPP推進、原発再稼働、戦争法の施行とともに、「共謀罪」法案の成立で「戦争する国」の完成を

主に残業の上限については、①「休日労働を含め単月で100時間未満、2から6ヶ月の平均時間」を合法とみなす、②「高度プロフェッショナル制度」を創設し、みなじ労働時間で働く裁量権法で「1日の労働時間は8時間とすることが国際基準とされ、日本では、1947年の労働基準法で「1日の労働時間は8時間を超えてはならない」とされました。

労働制の拡大を行う、というものです。これはまさに、メーデーを合法とみなす、②「高度プロフェッショナル制度」を創設し、みなじ労働時間で働く裁量権法で「1日の労働時間は8時間とすることが国際基準とされ、日本では、1947年の労働基準法で「1日の労働時間は8時間を超えてはならない」とされました。

職場・地域から「8時間労働を守れ」「安倍『暴走』政治トップ」の取り組みと世論喚起、一人ひとりが要求を持ち寄つて多くの新しい仲間とともにメーデーに参加したいものです。

国労とともに歩もう

職場で積極的に声をかけよう

4月14日と21日の金曜日に三島駅北口で研修センターから帰宅する新入社員に対し宣伝行動を行い行動を行いました。

『入社おめでとう!』『入社おめでとう!』と元気よく家路へと帰つて行きました。

宣伝行動で新入社員に声をかける参加者(4月21日)



掲げて、「一週間研修お疲れ!」「入社おめでとう!」「うござります」「頑張ります」と元気よく家路へと帰つて行きました。

新入社員は、「ありがとうございます!」
（報告 池田組織部長）

「がん」の保障 <新生きるためのがん保険Days 新生きるためのがん保険Daysプラス>

新生きるためのがん保険Days		新生きるためのがん保険Daysプラス	
新規加入料(新生きるためのがん保険Days)10,000円		新規加入料(新生きるためのがん保険Daysプラス)10,000円	
診断料付保険料	1回限りの がん 100万円 1回以内 10万円	診断料付保険料	1回限りの がん 100万円 1回以内 10万円
入院料付保険料	1日につき 10,000円 終身	入院料付保険料	1日につき 10,000円 終身
通院料付保険料	1日につき 10,000円 終身	通院料付保険料	1日につき 10,000円 終身
手術料付保険料	20万円 1日につき 2万円 終身	手術料付保険料	20万円 1日につき 2万円 終身
放射線治療料付保険料	10万円 1日につき 5万円 終身	放射線治療料付保険料	10万円 1日につき 5万円 終身

<新Daysプラス>		新規加入料(新生きるためのがん保険Daysプラス)	
新規加入料(新生きるためのがん保険Daysプラス)		新規加入料(新生きるためのがん保険Daysプラス)	
保険料(年額)	18,800円	保険料(年額)	18,800円
契約料(年額)	5万円	契約料(年額)	5万円
適用料(年額)	10,000円	適用料(年額)	10,000円
扶助料(年額)	5万円	扶助料(年額)	2.5万円
扶助料(年額)	5万円	扶助料(年額)	2.5万円

<新Daysプラス>は、現在ご加入のアフラックの「がん保険」とあわせてご契約いただくことを前提とした商品ですので、どちらも大切にご解説ください。

「生きる」を創る。Aflac

AF006-2016-0844 12月27日



潰れたままの家屋
(浪江町で)

また大きな地震と津波が被災地を襲った数日後の11月26日、福島に向かう東北新幹線の車窓からは意識しそぎのせいもあるかもしれません、大きな送電線が林立してあらためて福島から大都会東京へ向けて電力が運ばれているのを感じました。また、福島が近づくにつれてトンネルばかりとなり、あわせて国民的な議論や国会での審議も行なわれているのを感じました。また、福島が近づくにつれてトンネルばかりとなり、あわせて国民的な議論や国会での審議も行なわれているのを感じました。

新地町役場の屋上から



「除染作業終了」と書かれたコーン
(浪江町で)

また大きな地震と津波が被災地を襲った数日後の11月26日、福島に向かう東北新幹線の車窓からは意識しそぎのせいもあるかもしれません、大きな送電線が林立してあらためて福島から大都会東京へ向けて電力が運ばれているのを感じました。また、福島が近づくにつれてトンネルばかりとなり、あわせて国民的な議論や国会での審議も行なわれているのを感じました。また、福島が近づくにつれてトンネルばかりとなり、あわせて国民的な議論や国会での審議も行なわれているのを感じました。

うことなく着工を強行したリニア中央新幹線の車内を想像し、流れる景色が見えず無理矢理宇宙に浮かせた乗り物はなんと味のないつまらないものだと想像していました。

その後、常磐自動車道を南下し、途中で東北電力火力発電所を左に見ながら、浪江ICで降り、浪江町に入るとあちこちで除染作業が続いていました。

福島第一原発を間近に

JR浪江駅構内付近では除染を含めたレール枕木下のバラスト入替作業が行われていました。途中浪江町内では、今回のバス観察に添乗して案内して頂いた國労OBの方ご自身の被災した発直近で自動車での通行のみが許されている国道6号線を南下した際は、線量計の警報音が鳴りつ放しで緊張感とともに、流れる景色は草ボウボウのゴーストタウン化したかつて5年9ヶ月程前は町があつたところで、スキが夕日に照らされて美しくも空しい景色がそこにはありました。

帰宅困難地域で未だに立ち入りました。
(記・2016年11月29日 次号に続く)

国労本部は2016年11月26日から27日まで「第4回国労フクシマ交流・視察学習会」に取り組みました。東京電力福島第一原発事故被災地視察、現地からの報告と交流、福島第一原発の現状と課題についての学習という内容です。この交流・視察学習会に参加した名古屋地本書記長の鶴山さんの報告を2回にわたって掲載します。

被災から5年以上経ても 不安・問題点は先送りのまま 交流・視察学習会 報告記① 鶴山 章

新設状況をみました。新地町役場はギリギリのところで被災

(浸水)を免れ、隣の海側にある図書館は床上浸水となつたそうです。

自宅前で一旦バスを降り、2度目の大きな揺れで潰れたままの家屋や、放置されたままの軽トラックのフロントガラスに貼られた車検期限を示すシールは、



ゴーストタウン化した町
(福島第一原発の間近)

りが許されない場所へ入る道には警備員が常駐し、バリケードで塞がれていました。そこでも大きな送電線は南の方の首都圏へ向かって続いていて、その下には廃墟となつた衣料店シマムラやケーブルデンキ、ガソリンスタンドなどが残されていて、仮設で済むはずの無い被爆スクリーニング検査施設がありました。

なわてているJR常磐線富岡駅跡地付近では、ユニボなどでレールや付属品のあらたな新設、復旧に従事している作業員の方もおられ、新品のコンクリートマクラギやレールが準備され、近くの踏切では遮断管軸基礎設備が津波で無残にもねじ曲げられ、未だに真つ二つに折れ曲がつたままの電柱が残されており、あらためて津波の破壊力を感じました。除染した土砂が黒袋に入れられ、所々に積み上げられ、これまでに積み上げられた。

オプション保障(類焼損害費用保険、個人賠償責任保険、借家人賠償責任保険+修理費用)は、共栄火災海上保険㈱を引受け保険会社とする保険契約であり、共済ではありません。詳しい内容は必ずパンフレットおよび重要事項説明書をご確認ください。

みんなで暮らしをガード
交運共済(JR職域生協)
全国交通運輸産業労働者共済生活協同組合

家族の幸せを災害から守る

火災共済 + オプション保障 火災共済の保障力を、 さらにアップさせる新制度。

近隣の家へ損害を与えたときの「類焼損害保障」、日常生活での賠償事故に備える「個人賠償保障」、賃貸住宅で火事を起こした場合の「借家人賠償保障+修理費用」。火災共済とセット加入することで大型保障を実現します。

B1424401E2144-20150209



※借家にお住まいの方のみ